

## 平成 22 年度事業報告

### 1. 会議等

#### 1) 総会

日時：平成 22 年 6 月 4 日（金）13：30～18：30

場所：船の科学館 羊蹄丸アドミラルホール

東京都品川区東八潮 3 番 1 号

#### ・特別講演

○「イタリア・ヴェネツィアの海洋歴史博物館について」

塩崎 正孝 国土交通省 港湾局 国際・環境課 課長

○「ソニー・エクスプローラサイエンスについて」

新村 之朗 ソニー・エクスプローラサイエンス 館長

・交流会 船の科学館 4F ホールマーメイド

#### 2) 企画委員会

##### 第 1 回企画委員会（役員会と合同）

日時：平成 22 年 7 月 9 日（金）14：00～16：00

場所：船の科学館 本館 3 階「クラウンルーム」

東京都品川区東八潮 3 番 1 号

##### 第 2 回企画委員会

日時：平成 22 年 10 月 22 日（金）14：00～16：00

場所：帆船日本丸記念財団 訓練センター第 3 教室

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-1-1

##### 第 3 回企画委員会

日時：平成 23 年 3 月 9 日（水）14：00～16：00

場所：帆船日本丸記念財団 訓練センター第 3 教室

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-1-1

#### 3) 助成事業審査委員会

日時：平成 22 年 12 月 14 日（火）14：30～16：00

場所：ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3 丁目 11 番 9 号

## 2. 平成 23 年度助成事業について

平成 22 年 12 月 14 日に開催された審査委員会で次の 6 件の助成が決定された。

	館 名	活 動 名	実施期間	助成金
1	みちのく北方漁船博物館	「あおもりの海・船」出前トーク	平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 24 年 3 月 31 日	167 千円
2	日本郵船歴史博物館	海藻おしば親子体験教室	平成 23 年 7 月 30 日	149 千円
3	うみてらす 14 (四日市港管理組合)	展望展示室「うみてらす 14」 ナビゲーションシアター映像更新	平成 23 年 4 月～ 平成 24 年 3 月 31 日	130 千円
4	海峡ドラマシップ (関門海峡ミュージアム)	関門学講座	平成 23 年 8 月 1 日～ 平成 24 年 2 月 28 日	186 千円
5	横浜みなと博物館	サンデー・ペーパークラフト教室	平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 12 月 28 日	167 千円
6	名古屋海洋博物館	リーフレット印刷	平成 23 年 11 月 1 日	23 千円
合 計			6 館	822 千円

## 《 平成 23 年度助成事業審査委員会 》

委員名簿

(五十音順、敬称略)

塩崎 正孝

国土交通省港湾局 国際・環境課 課長

志澤 政勝

横浜みなと博物館 副館長

橋間 元徳

社団法人ウォーターフロント開発協会 専務理事

○ 堀川 洋

社団法人日本港湾協会 事務局長

(○:委員長)

### 3. 会報の発行

平成 22 年 9 月 10 日、会報第 6 号を発行



## みなとの博物館 ネットワーク・フォーラム Port Museum Network Forum

## Port Museum Network Forum 6

みなとの博物館ネットワーク・フォーラム事務局  
(社団法人ウォーターフロント開発協会内)

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3 階  
TEL:03-3453-4191 FAX : 03-3453-0252  
E-mail wf@waterfront.or.jp

### ご挨拶



会長 戸高 一成  
大和ミュージアム館長

このたびの総会におきまして、神戸振興協会常務理事 中瀬俊明様の跡を継いで、会長を拝命しました。微力ではありますが、みなとの博物館ネットワーク事業のお手伝い出来る事を光栄に思っています。

さて、みなとの博物館ネットワークの活動も、今年で6年を迎えました。言うまでも無く、港は海洋国家の玄関であり、歴史的にも、多くの外国文化を齎した窓口でした。しかし、日本人の生活の中で、その重要さが、どの程度国民に理解されているかを思うとき、まだ充分とはいえないのが実情です。

同時に、博物館は、多くの人にとって、歴史、文化に接する大切な窓口であり、地域の文化事業の中心となるべき施設と言えます。しかし、現在の博物館のおかれた環境は、望ましい運営環境とは、なかなか言えません。

このような中、私たちみなとの博物館ネットワーク・フォーラムの果たすべき役割は、極めて大きなものがあります。日本中に海洋問題の興味と知識を広めるには、将来的には、港のある地域の博物館は、当然ながら港を接点とした情報発信を行い、港の無い地域の博物館は、港と海の情報を収集し、周辺地域に中継発信することにより、日本全国の博物館で、常に最新の海事情報を得られるようになることが理想です。つまり、みなとの博物館ネットワークは、全国全ての博物館が参加対象になると考えています。

今後、みなとの博物館ネットワークが、事業を大きく発展させるためには、それぞれの館が、互いに協力し合いながら、事業の認知度を高めてゆくことが大切です。会員のお力で、更に会員を増加させてゆくことが必要です。また、そのためには事務局も一層の努力をしてゆきたいと思っています。

改めて、会員のみなさまの、積極的な事業参加をお願いいたします。

#### 4. 表彰状の授与

港湾振興活動の普及啓発に貢献したとして海の日付で 国土交通省 関東地方整備局長より表彰された。7月23日船の科学館で開催された表彰式に戸高会長と津田事務局長が出席、表彰記念パーティを午後5時より事務局事務所で行った。



#### 5. 国土交通省への要望

平成22年12月16日(木)  
国土交通省港湾局長他関係  
各課に要望書を提出した。

##### 1. みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの 活動に対する支援の継続

現在、正会員33、賛助会員等は92で設立当初より会員数は減少しているが、いわゆる”みなとの博物館”と言える主要な博物館はほぼ全館正会員として加入し、安定して活動に参加しているところです。

しかし、その活動経費の大半は、港湾関係団体からの支援により賄っているところです。

最近、我国経済の低迷により関係者団体の経営状況は極めて厳しいものがありますが、みなとの博物館の意義を十分認識され、今後もご支援頂きますよう特段のご指導を要望致します。

#### 6. ホームページについて

6月末日をもって、これまでのホームページを閉鎖した。

第2回企画委員会後、志澤企画委員長を中心にホームページ作成検討をおこなった。

第1回検討会 平成22年11月19日(金) 13:00~15:00 事務局事務所

第2回検討会 平成22年12月16日(木) 16:00~17:30 事務局事務所

第3回検討会 平成23年1月19日(水) 15:30~17:30 事務局事務所

- メンバー
- ・志澤 政勝 (横浜みなと博物館)
  - ・飯沼 一雄 (船の科学館)
  - ・鶴田 清 (郵船博物館)
  - ・大野 伊三男 (東京みなと博物館)

仕様書、構成表を作成、業者を決め、現在作成中。

8月頃には出来上がる予定。

#### 7. ポスターの作成について

第3回企画委員会において、ポスターの骨子を決定。300部作成。平成23年5月に関係者に配布した。(資料参照)

## 8. スキルアップ交流会

テーマ：集客

日時：平成 23 年 3 月 1 日～2 日

場所：伊香保（群馬県）

参加：6 博物館 8 名の参加

内容：①伊香保おもちゃと人形 自動車博物館 施設見学と講演

講師 横田 正弘氏（伊香保おもちゃと人形 自動車博物館 館長）

②意見交換会 事前アンケートを元に集客について意見交換

その他：片道交通費を補助

## 9. 巡回パネル展（日本の港の開港期展）

平成 21 年度に引続き巡回パネル展を開催した。

平成 22 年度は次の 3 館で開催した。

- ・名古屋海洋博物館 平成 22 年 2 月 28 日～ 平成 22 年 4 月 20 日
- ・海の科学館 平成 22 年 4 月 29 日～ 平成 22 年 5 月 31 日
- ・なにわの海の時空間 平成 22 年 6 月 25 日～ 平成 22 年 8 月 1 日

## 10. メールマガジン「博物館情報」の配信

平成 22 年 9 月より毎月 1 回配信。

正会員のほか、メールアドレス登録している会員、ウォーターフロント開発協会会員、国土交通省各港湾事務所等約 800 ヶ所に配信している。

なお、2 月より主要港湾の客船入出港情報を出すこととした。

